

神戸、進出200社・団体に迫る



神戸市が医療産業都市構想を進める人工島、ポートアイランドに進出企業同士や周辺大学の連携が弾みがついてきた。大手製薬会社から中小、ベンチャー企業（V・B）まで、進出企業・団体数は200に迫る。異業種から医療関連分野に参入する動きがあるほか、同地域内の企業や大学と連携し新製品の開発に乗り出す動きも目立ってきた。

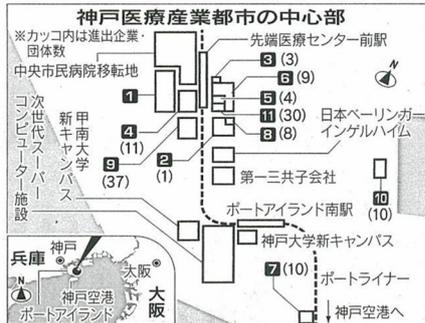
医療拠点じわり連携効果

▼神戸医療産業都市構想
ポートアイランド内に先端医療技術の研究開発拠点を誘致、産官学が連携できる基盤を整えて医療関連産業の集積を狙っている。1998年に

神戸市が震災後の地元経済の活性化などを目的に打ち出した。神戸市などは9月にポートアイランドを国際戦略総合特区に申請。税制や財政、金融に外資は8カ国23社をうち

異業種の中小参入 大学と製剤研究所も

神戸医療産業都市では、企業や大学と連携し新製品開発の動きも目立つ



施設名	機能
1 発生・再生科学総合研究センター	発生・再生分野の基礎研究機関
2 分子イメージング科学センター	分子イメージングを利用した医薬品開発支援
3 神戸バイオテクノロジー研究・人材育成センター	先端融合領域の研究・人材育成
4 先端医療センター	医療機器や医薬品、再生医療の臨床研究
5 神戸臨床研究情報センター	臨床研究のデータ解析など
6 神戸バイオメディカル創造センター	バイオベンチャー向け
7 神戸医療機器開発センター	新しい治療技術などの評価・改良・普及を推進する企業向け
8 神戸健康産業開発センター	実験機器・健康福祉関連企業向け
9 神戸国際ビジネスセンター	外資系企業向け
10 神戸インキュベーションオフィス	一般ベンチャー向け
11 神戸キメックセンタービル	オフィスと各種バイオ実験に対応した実験棟を備える

(進出企業は12月上旬で191社・団体。上記以外は業務施設・製造工場用地などへ進出。1社で複数の施設に進出している企業もある)

今夏、ポニーに進出したガス機械の中小メーカー、藤製作所は島内の介護関連企業から、薬剤を借らない介護用の車いすの洗浄方法の開発を受託した。独自の燃焼技術

を応用、ガスで蒸気を発生させて洗浄・除菌する技術を開発中だ。来春以降の商品化を目指している。歯科用の電気メスなどを

医療器具を製造・販売するモリタ製作所も今夏、京都市から拠点を移した。神戸市内の2大学との共同研究をさらに進めよう、施設環境の

良いポニーへの移転を決めたという。進出を機に独自技術であるレザーを使ったがん治療装置の開発に着手した。

電機精密機器などの部品を開発・製造する日精テクノロジは昨年、大阪府八尾市から本社機能を移転。併せて医療関連の事業に乗り出した。主にデジタルカメラや精密機器用の部品の開発・製造で培った技術を応用。新たに血液検査向けバイオチップの研究開発や医療器具の小細化などに取り組んでいる。

成長分野である医療関連製品の事業化に向け、

中小・V・B、撤退も多

大手製薬会社では独製薬大の現地法人、日本ペーリンの他府県から本社や研究開発センターを移す動きも目立つ。ポートアイランドに進出する企業も、この先ははじめる。今年10月に第一三共グループのアスピオファーマが島内に研究所を構えた。来年7月には新中央市市民病院が開業の予定。大手企業や大学、病院など都市と関との連携の拡充が定着率の向上につながる。毎月、交流を開催している。交流

10年で3割 定着課題に

定着課題に
異業種参入組を含め、広がってきた裾野の厚みも増していきが今後の課題だ。

3年かけて候補地を絞り込んだ結果、立地面や一方で、買収した医療・研究関連製品を開発するの環境面からポニーに移転を決めた。神戸市や大学の後押しも大きかったという。

進出企業の交流の結末、事業が前進した事例もある。大衆薬メーカーの日新薬品工業（滋賀県甲賀市）はポニーに、同センターに製剤研究所を研究開発施設の拡充を目的に、より広い建物に要員の増加に伴い2008年に開設した旧施設を買収、施設を移転した。「医療産業都市への拠点を進出で、大学や研究者との接点も持ちやすくなったうえ、新入社員は定着率も高まった」（日新薬品の大北正人社長）。

新施設では12人体制で大衆薬の商品開発を進めるほか、来春をメドに本社工場と同規模の生産ラインを設置、トロチチの生産も始める予定だ。